

地域と協働した町づくり

まほろば
ガーデン

徳島県立城西高等学校神山校

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



10月に入り、朝夕が過ごしやすくなりました。むしろ、肌寒く感じるくらいですね。夜の虫の鳴き声がより賑やかになり、秋の訪れを感じます。体調を崩しやすい時期ですので、体調の変化に十分お気を付けて、秋の味覚を堪能してください

地域の活動から

川又の花壇に看板が設置されました！



8月号でご紹介した、川又地区の花壇に城西高等学校 神山校の森林女子部が製作した看板が設置されました！神山杉を使用しており、看板の文字はなんと手彫り！さらに、腐敗・虫食いを防ぐために焼きを入れていたり、頑丈にするための支柱には絞丸太を使用したりとこだわりが詰まっています。設置の日には、様々な農具を駆使しながらあっという間に土を掘り進めていき、強風でも倒れない様しっかりと設置してくれました。

「まほろばガーデン」の由来は、今後もみんなで花壇の手入れを続けていき、上分地区が少しでも明るくなったらいいなという想いから「すばらしい場所」「すみやすい場所」という意味の「まほろば」からきています。

近々、冬の花の植え替えも行う予定ですので、次号以降ご紹介させていただきます！

森林女子部とは...

2015年4月結成。神山産の杉材で神山町にちなんだ商品製作して道の駅のイベントに参加したり、地域の方々から依頼を受けて自分たちでアイデアを出し合いながら、ものづくりをしたりしているそうです。（町内マラソン大会の記念盾やメダル、保育所の修了記念品なども森林女子部が製作！）

城西高校神山校地域創生類では、神山町を学びのフィールドとした様々なプロジェクトを実施しています。

この【まほろばガーデン】も、上分集落からの「雑草が生い茂った土地をどうにかしたい。」という依頼により令和3年4月より取り組んで参りました。

4月に看板製作と設置の依頼があり、環境デザインコース3年生3名が町産杉材を1学期間かけて加工し9月に設置することができました。



10月には夏の花から冬の花の植え替える作業を地域の方々と行いました。面積が約125m²もあり、ビオラ500鉢・パンジー500鉢・葉ボタン100鉢を30人の協働作業で2時間かけ植え替え作業を終えました。メジャーで測りながら一鉢一鉢揃えながら植えたので仕上がりがとても美しく仕上がったのでみんな喜んでくれました。この花は神山校で生徒たちが実習で育てた草花です。

地域住民の方から

生徒たちと、にぎやかに話をしながら作業ができ元気をお裾分けしてもらえた。生徒さんが農業実習で丹精込めて育てた花は、とてもきれいで立派なので大勢の人たちに見に来てほしい

事業に参加した生徒から

地域の方たちと交流しながら実習して行くことが楽しい。地域住民の方々と関わることで地区の抱える課題を知ることができ、解決に向けてクラス全員で取り組むことができた。私たちの学年で終わらせることなく、後輩へも引き継げる取り組みとしていきたい。